

頭取ご挨拶



日ごろ、皆さま方には常陽銀行をお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、当行は2015年7月30日をもちまして、創立80周年を迎えることができました。これもひとえに、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまからの永年にわたるご支援の賜物であり、役職員一同、心より感謝申し上げます。

80周年を迎えるにあたり、皆さまの日ごろのご支援に感謝し、さまざまな記念事業を展開してまいりました。その一つとして行史の編纂を計画し、このほど「常陽銀行80年史」が完成いたしました。

当行はこれまで「二十年史」、「四十年史」、「七十年史」を発刊しておりますが、50周年、60周年の際にも、10年を区切りとして、それぞれ「この10年のあゆみ」を発刊してまいりました。

このたび、創立80周年を迎え、創立からの70年間を振り返るとともに、最近10年間の当行の取り組みを記念誌にまとめました。本書が、当行に対する皆さまのご理解を深める一助となれば幸いです。

顧みますと、当行は、1935年7月、水戸に本店を構える「常磐銀行」と土浦に本店を構える「五十銀行」が合併して発足し、80年にわたる歴史を積み重ね、今日の発展をみるにいたりました。これもひとえに、皆さまからのご愛顧の賜物であると重ねて御礼申し上げます。

同時に、これまで多くの難局を克服し、今日の当行発展の礎を築かれた諸先輩に対しましても、改めて敬意を表したいと存じます。

当行は、「健全、協創、地域と共に」の経営理念のもと、地域のさらなる成長・発展にグループ一丸となって取り組んでいきたいと考えております。

また、当行は今般、80年の歴史をふまえて新たな飛躍を目指していくため、足利ホールディングスとの経営統合に関する基本合意書を締結いたしました。

構造変化が進展する経営環境下においても、利便性が高く、質の高い総合金融サービスを提供し続け、地域の皆さまの成長をご支援し、地方創生のけん引役としての役割を発揮し続けてまいりたいと考えております。今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年1月

取締役頭取

寺門一義